2021年6月改訂

動物用医薬品

愛犬猫用皮膚病薬

犬 チ ン キ

本品は皮膚糸状菌症（カビによる皮膚病）と外部寄生虫（かいせん、毛のう虫症など）の改善に優れた効果を発揮する皮膚病薬です。
皮膚糸状菌症は毛が根本や途中から折れて、ひどくなると、全身がトラ刈りのようになって非常に痒がります。かいせん虫、毛のう虫は皮膚の奥深くに寄生し、このために非常に痒く、体をこすりつけるので皮膚が腫れて出血することもあります。非常に治りにくい皮膚病です。

効能又は効果

外部寄生虫症における症状改善、皮膚糸状菌症

用法及び用量

1日1～3回、患部に塗布、または、脱脂綿、ガーゼ等に浸して塗布。

成　　分

本剤100mL中　チアントール …… 2.0mL
サリチル酸 …… 0.5g
ウンデシレン酸 …… 0.5g

使用上の注意

【一般的注意】
（1）本剤は効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
（2）本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

【犬及び猫に対する注意】
1．副作用
（1）本剤の有効成分であるサリチル酸は経口又は腹腔内投与によるラットの動物実験で催奇形作用が報告されているので、妊娠動物及び妊娠している可能性のある動物には慎重に投与すること。
（2）発疹、発赤、かゆみ等の過敏症状がみられる場合は使用を中止し、獣医師の診察を受けること。
2．適用上の注意
（1）本剤は外用のみに使用し、内服しないこと。
（2）患畜の目に入らないように注意すること。万一入った場合は、直ちに水又はぬるま湯で洗うこと。
（3）次の場合は使用前に獣医師等に相談すること。
イ）今まで薬によるアレルギーを起こしたことがある場合。
ロ）患部が広範囲の場合。
ハ）深い傷やひどい火傷の場合。
ニ）獣医師の治療を受けている場合。
ホ）数日間使用しても症状の改善が見られない場合。

【保管上の注意】
（1）飲食物、食器、小児の玩具等と区別し、小児の手の届かない所に保管すること。
（2）直射日光を避け、なるべく涼しい所に密栓して保管すること。
（3）誤用を避け、品質を保持するため他の容器に入れ換えないこと。

【その他の注意】
（1）本剤の有効成分であるサリチル酸は、実験動物において変異原性を示したとの報告がある。

製造販売元
内外製薬株式会社
〒639-2200 奈良県御所市1568番地
http://www.naigai-pet.com
TEL：0745－65－1156
（9：00～17：00　土、日、祝日を除く）

外部寄生虫症・皮膚糸状菌症について

【外部寄生虫とは】
動物のからだの表面や皮膚の表層に寄生するノミやダニの仲間を言います。

【外部寄生虫症には】
アカラス（毛包虫症、ニキビダニ）、疥癬などがあります。

アカラスとは…
毛包虫あるいはニキビダニとも言われ、ダニがイヌやネコの毛包や皮脂腺に寄生することにより発症します。
長期にわたりからだの限られた部位に脱毛などが見られます。細菌の二次感染により化膿、出血、浮腫などの皮膚病変が見られます。

疥癬（かいせん）とは…
ヒゼンダニ症とも言われ、ダニにより起こり季節に関係なく見られます。
症状としては、イヌやネコの病変部に激しいかゆみが見られます。

【皮膚糸状菌症とは】
真菌の一種である皮膚糸状菌の感染で発症します。代表的なものとして、酵母の一種であるマラセチアが原因で起こるマラセチア感染症があります。症状としては、顔、耳、四肢に円形の脱毛が見られます。多くの場合、激しい痒みを伴います。

感染の予防としては、寄生を受けている動物との接触を避けることが大切ですが、飼い主による日頃のお手入れの際、イヌやネコのからだを注意深く観察することも大切です。